

人工衛星で畑の悪いところを診断する

概要 Abstract

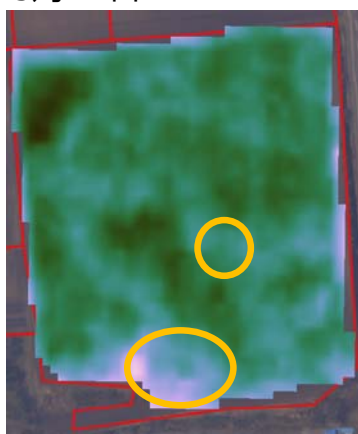
秋まき小麦作付圃場で人工衛星で観測したNDVIを取得し、

- 幼形期（5月頃）と収穫前（7月頃）でいずれもNDVIが低いエリアは**保水性不良**エリア
- NDVIが幼形期に低いのが収穫前には逆転する**地形的に低い**エリアは**排水性不良**エリア

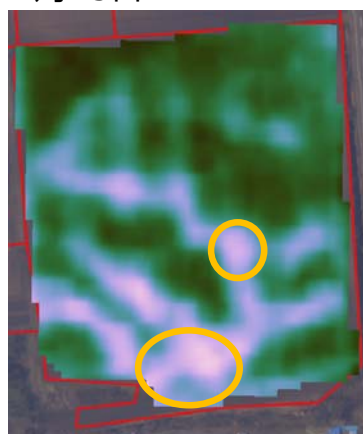
成果 Results

低 NDVI 高

5月22日



7月13日

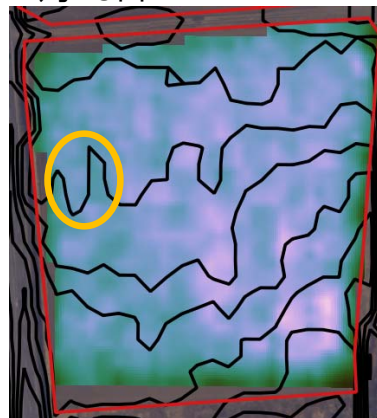


幼形期頃と収穫前でいずれもNDVIが低いエリア ⇒ **保水性不良**

5月13日



7月28日

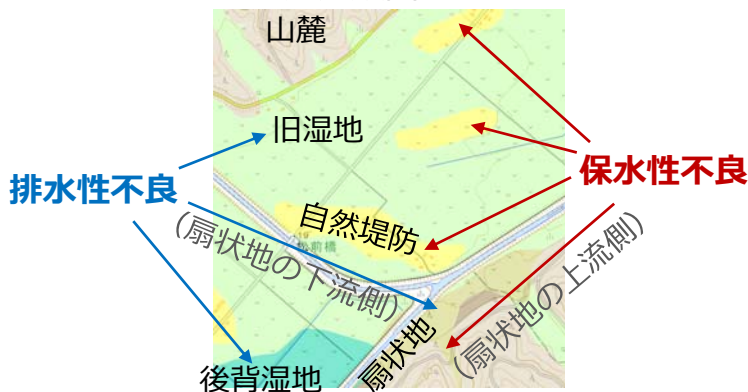


※等高線は数値標高モデル（国土地理院）を加工して作成

- NDVIが幼形期頃に低いのが収穫前には逆転して高いエリア ⇒ **排水性不良**
- 地形的に低いエリア ⇒ **排水性不良**

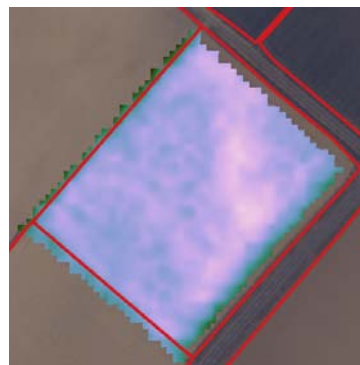
保水性不良や排水性不良になりやすい地域であるかを**事前に確認**するために**地形図**や**地域の農業史**が参考になります。

治水地形分類図（国土地理院）

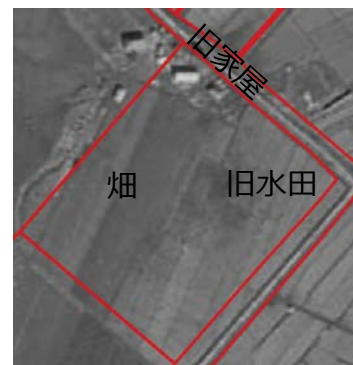


異なる前歴圃場の合筆、病虫害や倒伏の発生、雑草の繁茂等がみられた場合は判定を除外します。

2018年のNDVI



1960年代（国土地理院）



普及 Dissemination

- ①圃場のなかで重点的に改善すべきエリアがわかります。
- ②具体的な判定手法を道総研のウェブページ（農業技術情報広場）で公開予定です。

連絡先 Contact

十勝農業試験場
研究部 生産技術グループ
0155-62-2431
tokachi-agri@hro.or.jp